

高野産業株式会社 環境経営報告書



Accreditation No. M5470514IB

認証番号015-24027-E

第17号(2024年10月～2025年9月)



発行日:2025年10月30日

環境経営方針

〈環境理念〉

私たちが今日のような豊かな暮らしを実現するために、たくさんのモノをつくり、使い、捨ててきたことによって、自然環境に大きなダメージを与えてきました。今さまざまな環境問題が深刻化し、私たちの生命や健康にも影響を及ぼしはじめています。人類は地球の生態系のひとつの要素に過ぎず、かけがえのない地球は私たちだけのものではありません。弊社では、「地元地域の環境保全」「適正処理」「社会貢献」の3大要素を複合させ、廃棄物処理システムを構築してまいりました。

これらに必要なコストをかけ、あらゆる情報を公開し、透明性のある事業を展開することと、独自ノウハウを発揮させて継続していくことが長期にわたり安心・安全を提供できるものと考えます。

いずれは、私たちの子供たちが自然の恩恵を受けて暮らせることを願って、地球環境に配慮した事業活動を展開してまいります。

〈基本理念〉

1. 環境事業を通して社会に貢献します。
2. 安全性・信頼性・俊敏性を磨き、自社ブランドを確立します。
3. 当たり前の事を当たり前に行動できるように、人間力に磨きをかけます。
4. すべての問題を自分に置き換え行動できる集団を目指します。
5. 積極的に改善改革に取り組み、顧客ニーズに応えられる企業を目指します。

〈環境保全への行動指針〉

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - ① 二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）
 - ・ 電力関係（事務所、廃棄物処理施設）
 - ・ 自動車燃料（営業車、トラック）
 - ② 排水量の削減（水資源の保全）
 - ・ 一般水道水
 - ③ 廃棄物のリサイクル率の維持（循環型社会への対応）
 - ・ 産業廃棄物
 - ④ 社会貢献
 - ・ 地元地域の環境保全及び環境活動への積極的な参加
 - ⑤ グリーン購入
 - ・ 文具・事務用品・OA機器
 - ・ 営業車・トラック・重機（低排出ガス車、低燃費車・ハイブリッド車の導入）
2. 環境経営の継続的改善を誓約します。
3. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。
4. 環境への取組みを環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2011年 10月 1日

改定日：2014年 10月 31日

改定日：2018年 11月 17日

改定日：2020年 10月 1日

改定日：2022年 11月 21日

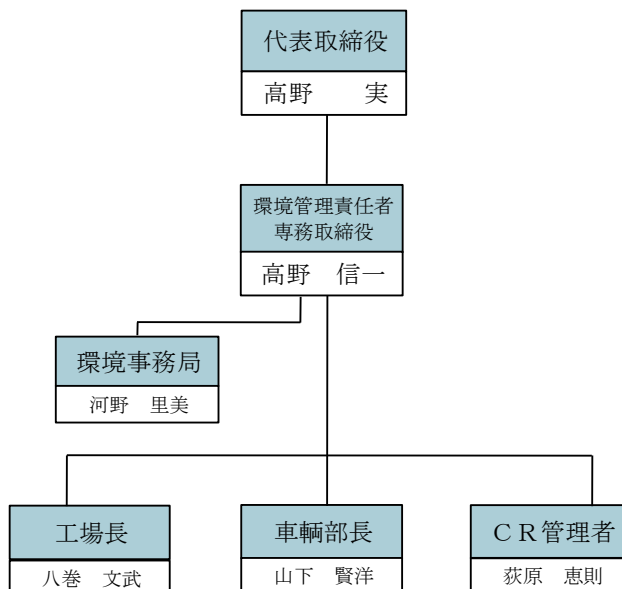
代表取締役

高野 暎



登録事業所の概要

- 1) 事業所名及び代表者名
高野産業 株式会社 (法人設立年月日：昭和62年7月)
代表取締役 高野 実
- 2) 所在地
山梨県韮崎市下祖母石2278番地
- 3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先
責任者：専務取締役 高野 信一
(連絡先)
TEL：0551-23-0072(代)
FAX：0551-23-0073
HP：https://www.tkn1987.jp/
E-mail：ts@tkn1987.jp
- 4) 事業内容（認証・登録の範囲）
産業廃棄物及び一般廃棄物の収集・運搬、中間処理
- 5) 事業の規模
資本金 1,000万円
売上高 7.38億円（2024年10月～2025年9月）
従業員 30名
延べ床面積 4022.41㎡
- 6) 事業年度 10月～9月
- 7) 組織図



主な環境負荷の環境経営目標及び環境経営計画

2024年度は、3か年計画の中間年度になりました。

2022年度終了後、環境経営目標値の見直しを行いました。2020年度から取り組みを始めて3年間の成果を基に2022年度の実績数値を基準値へと改定いたしました。

下記、目標値の達成に向け2023年度の活動を開始いたしました。

※環境目標は基準年2022年値を基本とし、軽油等燃料、水使用量は毎年0.1%の削減、リサイクル率は1%の増加を目標

環境経営目標 3か年計画〔2023年～2025年〕

取組項目		単位	基準値	目標値			
				2023年	2024年	2025年	
二酸化炭素排出量削減		kg-CO2/百万円	1,692.50	1690.81 0.1%減	1689.12 0.2%減	1687.42 0.3%減	
内訳	電力使用量削減 (年間0.1%ずつ)	kwh/百万円	45.36	45.31	45.27	45.22	
		kg-CO2/百万円	28.15	28.12	28.09	28.07	
	ガソリン使用量削減 (年間0.1%ずつ)	L/百万円	7.12	7.11	7.11	7.10	
		kg-CO2/百万円	16.52	16.50	16.49	16.47	
	軽油使用量削減 (年間0.1%ずつ)	L/百万円	640.88	640.24	639.60	638.96	
		kg-CO2/百万円	1,657.45	1,655.79	1,654.14	1,652.48	
	燃費向上 (年間0.1%ずつ)	大型車	km/L	3.15	3.15	3.16	3.16
		小型車	km/L	5.86	5.87	5.87	5.88
	灯油使用量削減 (年間0.1%ずつ)	L/百万円	0.78	0.78	0.78	0.78	
		kg-CO2/百万円	1.93	1.93	1.93	1.92	
水道水使用量の削減 (年間0.1%ずつ)		m ³ /百万円	0.481	0.481	0.480	0.480	
リサイクル率の維持 (30%を維持する)		%	39.00	40.00 1%増	41.00 2%増	42.00 3%増	
社会貢献		地元地域の環境保全及び環境活動への積極的な参加					
グリーン購入		営業車・トラック・低排出ガス車・低燃費車の導入 事務用品（グリーン購入法適合商品）の購入					

電力の基準値は2020年度～2022年度の平均値とする（電力以外は排出係数（ガイドライン2017年版）を使用）

制定年月日 2023年11月2日
制定者 代表取締役 高野 実

環境経営目標に対する実績及び評価

運用期間（2024年10月～2025年9月）

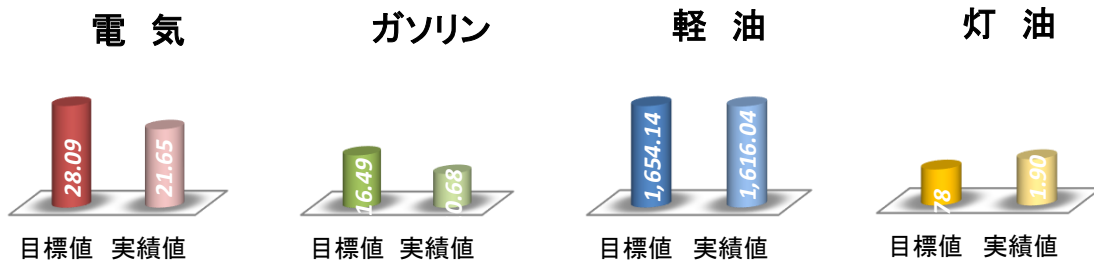
項目	取組項目	目標値	実績値	達成率
二酸化炭素排出量削減	電力使用量 (kg-CO2/百万円)	28.09	21.65	129.7%
	ガソリン使用量 (kg-CO2/百万円)	16.49	10.68	154.4%
	軽油使用量 (kg-CO2/百万円)	1,654.14	1,616.04	102.4%
	灯油使用量 (kg-CO2/百万円)	1.93	2.33	82.8%
	燃費向上 (km/L)	大型車	3.16	3.12
小型車		5.87	5.46	93.0%
水使用量削減	水使用量削減 (m3/百万円)	0.480	0.457	105.0%
リサイクル率の維持	リサイクル率の維持 (%)	41.00	46.00	112.2%
社会貢献	地域清掃活動（11月）に参加しました。			
	夏祭りは不参加			
グリーン購入	低燃費の低公害車（アームロール車）を新規購入しました。 文具・事務用品はグリーン購入法適合品を購入しました。			

電力の基準値は2020年度～2022年度の平均値とする（電力以外は排出係数（ガイドライン2017年版）を使用）

（評価）

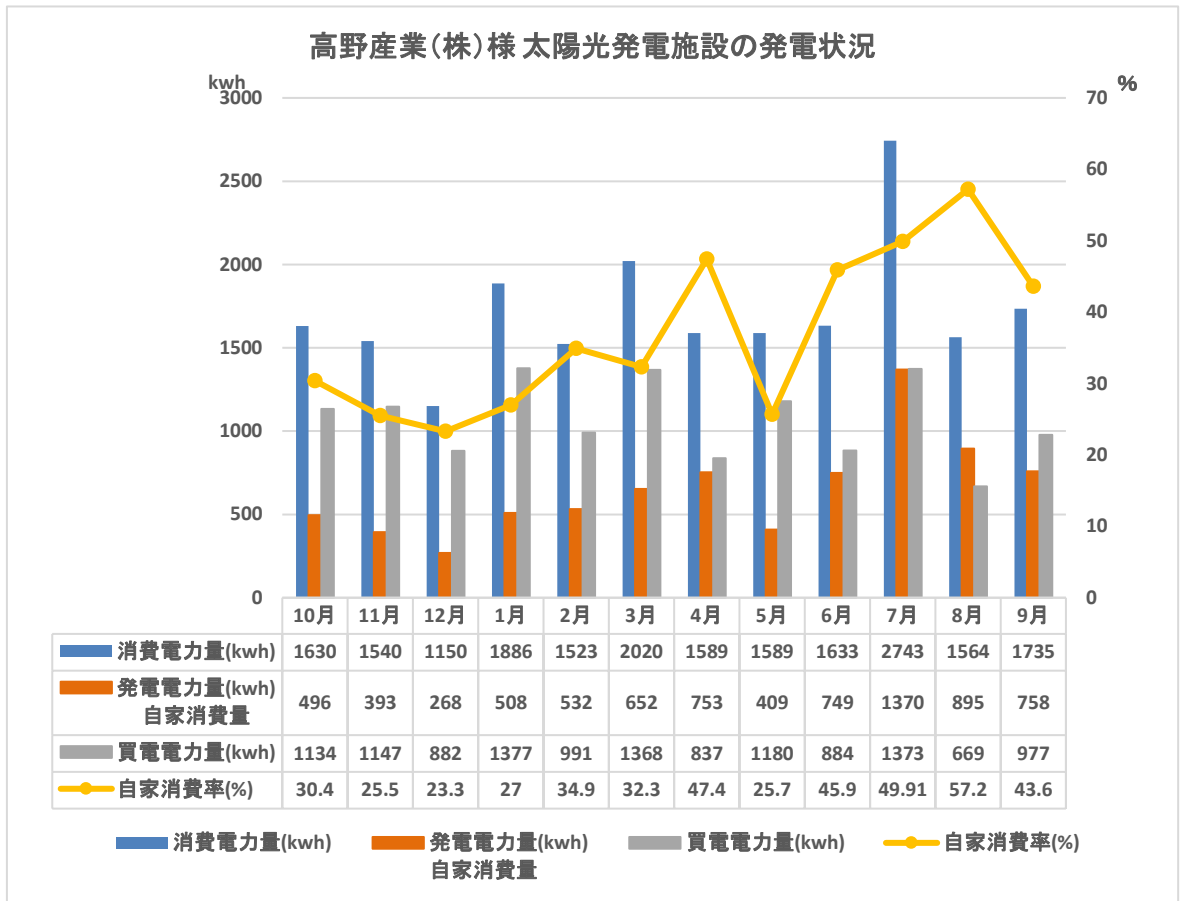
環境経営目標8項目の内、達成した項目は電気使用料等(水色)5項目であり、目標≧二酸化炭素に関わる4項目の達成率は103.0%で今年度の目標を達成しています。

二酸化炭素に係わる4項目の合計 (電力・ガソリン・軽油・灯油 : kg-CO2/百万円)	目標値	実績値	達成率
	1,700.66	1,650.70	103.0%



二酸化炭素排出量（2024年10月～2025年9月）

項目	取組項目	消費量	排出量 (kg-CO2)
二酸化炭素排出量	電力 (kWh)	25,560.00	9,354.96
	ガソリン (L)	3,395.65	7,883.54
	軽油 (L)	461,149.46	1,192,633.96
	灯油 (L)	690.00	1,716.90
	合計		



2024年10月～ 2025年9月	消費電力 (kwh)	発電電力量(kwh) 自家消費量	買電電力量 (kwh)	自家消費率 (%)
1年間の合計	20,602	7,783	12,819	—
月平均	1,716	648	1,068	37.7

1. 年間発電量について

年間発電量は、20,602 kwh/年、但し4月末～5月連休明けパワコン一時停止(過電流の影響)のため、5月分の発電量が減少(約300kwh)、本来であれば約21,000kwh/年の発電量であり、90%の達成率は確保していると思われる。

2. 全社電気使用量(消費量)

1年間に本社プラント工場で使用(消費)した電気量は、20,602kwh/年(前年度22,028)となっていた。最大消費月は7月の2,743 kwh/月、最小消費月は12月の1,150 kwh/月で、各月の年間の変動係数は27%とバラツキが大きくなっていた。

3. 自家消費量及び自家消費率

年間自家消費量は7,783kwh/年、発電量に対する自家消費率は $(7,783/20,600) \times 100 = 37.8\%$ となっている。自家消費率を高めるためのプラント稼働時間の管理、蓄電池の導入等を今後検討していく。

4. 電気料の年間削減金額

太陽光設置前の年間平均電力単価は、1kwh当たり58.7円であった。設備設置による削減電気量(自家消費)が7,783kwh/年より、削減金額は $7,783(\text{kwh/年}) \times 58.7(\text{円/kwh}) \approx 457,000(\text{円/年})$ と推定する。初期投資額が190万より、回収年は4.1年以内と推定する。(ピークカット効果は未考慮より)

5. 総合評価

太陽光発電設備の年間発電量は、ほぼ予測値を確保しているが、自家消費率が約40%(予測値70%)を大きく下回っている。設置後1年間のデータであるが、本データを参考に自家消費率を高める施策を今年度検討していく。なお、電気量削減(再エネ創出)による年間の二酸化炭素削減量は3,100 kg/年と推定する。

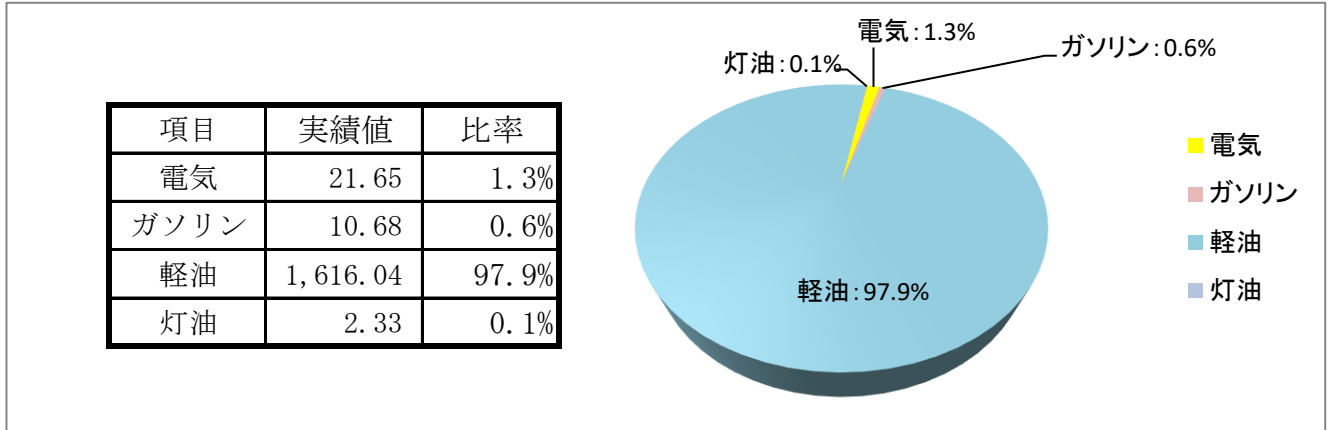
主要な環境経営計画の取組結果とその評価、 並びに次年度の環境経営目標及び環境経営計画

(1) 環境経営計画の取組結果

1) 二酸化炭素排出削減

当社の二酸化炭素排出源としては、電気、ガソリン、軽油の消費に伴い排出されるものが主で、下のグラフに示すとおり軽油の消費による二酸化炭素排出量が全体の約97.1%を占めるため、軽油の消費削減を最重要課題として取組み活動を行いました。

二酸化炭素の排出比率



具体的な実施項目			取組結果	評価
電気	オフィス電力使用量の削減 (従量電灯C)	不使用時・昼休み時間の電灯OFF	○	目標達成。
		エアコンの設定温度管理		
ガソリン	使用量の削減	効率的な営業ルートを選択	○	エコドライブ・営業ルートの効率化等で目標を達成した。
		法定速度・規則・エコドライブの厳守		
軽油	燃費向上・使用量の削減	デジタコ・管理システムによる燃費の管理(燃費の向上)	×	燃費は目標値よりも大型車約1.3%、小型車約7.0%低下し、ともに目標未達成。使用量については約2.3%減少し目標達成となった。但し、燃費に関しては積載荷重や坂道等走行ルートにより変動するが、デジタコ管理を徹底していることから、削減効果はあがっていると評価する
		運転者の省燃費運転の意識向上への教育	○	
		売上高に対する使用量の削減	○	
灯油	使用量の削減	小まめな温度調整	×	目標未達成。
		無人時のストーブの消火		

2) 水使用量削減 (なお、この1年間は、漏水事故等による水の異常使用はありません。)

具体的な実施項目			取組結果	評価
水道	使用量の削減	使用時のこまめなバルブ開閉	○	使用量は前年比3m3、約0.9%増加したが、売上高が前年比約4.2%増加したため目標達成となった。
		効率的な散水・計画的な洗浄		

3) リサイクル率の維持

具体的な実施項目		取組結果	評価
リサイクル	リサイクル率の維持	○	目標達成。
	木くず・金属くずの100%リサイクル 徹底した選別による有価物回収(拾集)		

4) 廃棄物の削減

自社より発生する廃棄物の種類としてコピー用紙がありますが、すでにコピー用紙の使用削減の取り組みを行っているので、削減目標に取り上げていません。具体的な削減取り組みとしては、電子化によるペーパーレス化、ミスプリント削減、裏紙利用(含、両面コピー)等を行っています。今後も継続して取り組みを行います。

エコキャップ運動への参加、日本キリスト教海外医療協力会(JOCS)へ使用済み切手の寄付をしています。



5) グリーン活動

① 今期、低燃費の低公害車(アームロール車)を新規購入いたしました。今後も作業用重機・運搬車両を低公害車に入替えを行っていきます。



② 文具・事務用品は「グリーン購入適合品」を購入しました。



③ 今後も継続してグリーン活動を行っていきます。

(2) 次年度の環境経営目標及び環境経営計画

1) 二酸化炭素排出削減

具体的な実施項目			次年度の取組内容
電 気	オフィス電力使用量の削減 (従量電灯C)	不使用時・昼休み時間の電灯OFF	継続して削減への取り組みを行う。
		エアコンの設定温度管理	
ガソリン	使用量の削減	効率的な営業ルートを選択	継続して取り組みを行う。
		法定速度・規則・エコドライブの厳守	
軽 油	燃費向上・使用量の削減	デジタコ・管理システムによる燃費の管理(燃費の向上)	燃費・使用量共に引き続き削減に努める。
		運転者の省燃費運転の意識向上への教育	
		売上高に対する使用量の削減	
灯油	使用量の削減	小まめな温度調整	引き続き新規基準に向け計画して削減への取り組みを行う。
		無人時のストーブの消火	

2) 水使用量削減

具体的な実施項目			次年度の取組内容
水 道	使用量の削減	使用時のこまめなバルブ開閉	引き続き節水意識向上に努める。
		効率的な散水・計画的な洗浄	

3) リサイクル率の維持

具体的な実施項目			次年度の取組内容
リサイクル	リサイクル率の維持	木くず・金属くずの100%リサイクル	選別精度を上げ、リサイクル率を高めるよう努める。
		徹底した選別による有価物回収(拾集)	

5.

環境関連法規制等の遵守状況の確認及び評価の結果
並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
廃棄物処理法	一般・産業廃棄物の収集運搬・処分
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、電気冷蔵庫（凍）庫、電気洗濯機・衣類乾燥機
フロン排出抑制法	特定フロン使用エアコン
PM条例	車両

上記の法律について遵守状況を確認したところ、遵守されているとの評価を得ています。環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境法規制等の違反はありませんでした。なお、関係当局よりの違反等の指摘は、過去3年間ありません。

6.

地域との関わり

弊社では、地元地域の環境保全を大前提に事業を展開しており、地域美化活動及び地域行事への参加を積極的に行っています。

2024年度の地域活動は次のとおりです。

地域活動の名称	活動内容	実施年月
秋の環境整備水路清掃	河川清掃及び周辺の草刈り	R6.11
秋葉山神事新年会	飲み物提供	R7.1
春の環境整備水路清掃	河川清掃及び周辺の草刈り	不参加
夏祭り（九頭竜祭典）子供神輿	飲み物提供	不参加
盆踊り、カラオケ大会	模擬店出店：金魚・ヨーヨーすくい ソフトクリーム	不参加

廃棄物処理業の情報公開項目

1. 許可の内容

許可項目	許可区域	許可番号等	許可の年月日	許可の有効期限	備考
産業廃棄物収集運搬業	山梨県(優良)	第01914001455号	令和5年08月14日	令和12年08月13日	
		第01954001455号	令和5年03月04日	令和12年03月03日	特管
	東京都(優良)	第13-00-001455号	令和6年12月01日	令和13年11月30日	
	栃木県	第00900001455号	令和6年11月21日	令和11年11月20日	
	群馬県(優良)	第01000001455号	令和4年09月08日	令和11年09月07日	
	千葉県(優良)	第01200001455号	平成24年03月26日	令和8年03月14日	
	埼玉県(優良)	第01102001455号	令和6年08月07日	令和13年08月06日	
	神奈川県(優良)	第01402001455号	令和6年11月21日	令和13年09月28日	
		第01452001455号	令和5年11月21日	令和12年10月31日	特管
	長野県(優良)	第2009001455号	令和6年12月26日	令和13年12月25日	
		第2059001455号	令和5年06月02日	令和12年06月01日	特管
	静岡県(優良)	第02201001455号	令和7年01月17日	令和14年01月16日	
	愛知県(優良)	第02300001455号	令和2年07月13日	令和9年06月15日	
	岐阜県(優良)	第02100001455号	令和5年07月05日	令和12年07月04日	
	三重県(優良)	第02400001455号	令和5年07月26日	令和12年07月25日	
	新潟県(優良)	第01509001455号	令和2年04月16日	令和9年04月15日	
滋賀県	第02501001455号	令和7年07月28日	令和12年07月27日		
産業廃棄物処分業	山梨県(優良)	第01924001455号	令和3年03月15日	令和10年03月14日	
一般廃棄物収集運搬業	韮崎市	韮市指令第166号	令和6年04月01日	令和8年03月31日	
	甲府市	環指令第24号	令和7年07月04日	令和9年07月03日	
	中央市	中央市指令第5-34号	令和5年12月13日	令和7年12月12日	
	北杜市	北杜環境第1437号	令和6年04月01日	令和8年03月31日	
	寄居町	第B2402BU005号	令和6年02月01日	令和8年01月31日	
	川上村	5川産建第346号	令和6年04月01日	令和8年03月31日	
一般廃棄物処分業	韮崎市	韮崎市指令第348号-5	令和7年04月01日	令和9年03月31日	

* (優良) は「優良産廃処理業者認定」

2. 事業の範囲

許可項目		廃棄物の種類	
産業廃棄物収集運搬業		燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類(※)、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず(※)、鉱さい、がれき類(※)、ばいじん(※印があるものは石綿含有産業廃棄物を含む)	
産業廃棄物収集運搬業(特管)		廃油、廃酸、廃アルカリ、感染性産業廃棄物、特定有害産業廃棄物(廃石綿等、ばいじん、燃え殻)	
一般廃棄物収集運搬業		事業系ごみ	
産業廃棄物処分業	圧縮施設	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず、がれき類	
	処理方式 圧縮 (処理能力)	廃プラスチック類	8.70t/時間(69.6t/日)
		紙くず	7.31t/時間(58.4t/日)
		木くず	6.89t/時間(55.1t/日)
		繊維くず	5.46t/時間(43.7t/日)
		金属くず	16.73t/時間(133.81t/日)
		ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず	1.57t/時間(12.5t/日)
		がれき類	17.40t/時間(139.21t/日)
	破砕施設	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ゴムくず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず、がれき類	
	処理方式 破砕 (処理能力)	廃プラスチック類	4.41t/時間(35.3t/日)
		紙くず	4.63t/時間(37.1t/日)
		木くず	6.30t/時間(50.4t/日)
繊維くず		2.86t/時間(22.9t/日)	
ゴムくず		6.85t/時間(54.8t/日)	
金属くず		4.53t/時間(36.3t/日)	
ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず		8.60t/時間(68.8t/日)	
がれき類	5.93t/時間(47.5t/日)		
選別施設	汚泥(道路清掃により生じたものに限る。)、プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ゴムくず、ガラスくず・コンクリートくず(がれき類を除く)及び陶磁器くず、がれき類		
処理方式 選別 (処理能力)	13.75m ³ /時間(110.0m ³ /日)		

2. 事業の範囲

一般廃棄物処分業	圧縮施設	可燃物(生ごみは除く)、不燃物、粗大ごみ
	処理方式 圧縮 (処理能力)	133.847t/日(8h)
	破砕施設	可燃物(生ごみは除く)、不燃物、粗大ごみ
	処理方式 破砕 (処理能力)	68.6t/日(8h)
	選別施設	可燃物(生ごみは除く)、不燃物、粗大ごみ
	処理方式 破砕 (処理能力)	55.5t/日(8h)

3. 施設等の状況

■ 運搬車両の種類と台数

運搬車両の種類	台数
トラクタ	1
ダンプセミトレーラー	1
脱着装置付コンテナ専用車 (*25t)	12
脱着装置付コンテナ専用車 (7t)	1
脱着装置付コンテナ専用車 (4t)	4
脱着装置付コンテナ専用車 (3t)	2
ダンプ車 (*25t)	1
平ダンプ車 (*20t)	1
塵芥車 (6t)	1
塵芥車 (4t)	1
塵芥車 (3t)	1
ユニック車 (3t)	2
	総台数28台

※はGVW・他は車両タイプ

■ コンテナ所有台数

コンテナの種類	台数
3 3 m ³ コンテナ	1
3 0 m ³ コンテナ	1
2 0 m ³ コンテナ	52
1 5 m ³ コンテナ	1
1 0 m ³ コンテナ	2
8 m ³ コンテナ	130
5 m ³ コンテナ	28
4 m ³ コンテナ	65
3 m ³ コンテナ	40

4. 積替保管施設

項目	面積	保管上限量	廃棄物の種類	
積替保管施設①	172.84㎡	140㎡	産業廃棄物	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）及び陶磁器くず(※)、鋳さい、がれき類、ばいじん 以上16種類 ※ただし、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等を含む。
			一般廃棄物	廃プラスチック類、ガラスくず、陶磁器くず、廃乾電池、廃蛍光管、廃家電品、金属くず、粗大ごみ
積替保管施設②	54㎡	44.08㎡	産業廃棄物	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）及び陶磁器くず(※)、鋳さい、がれき類、ばいじん 以上16種類 ※ただし、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等を含む。
			一般廃棄物	廃プラスチック類、ガラスくず、陶磁器くず、廃乾電池、廃蛍光管、廃家電品、金属くず、粗大ごみ
積替保管施設③	10.9㎡	22.8㎡	産業廃棄物	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）及び陶磁器くず(※)、鋳さい、がれき類、ばいじん 以上16種類 ※ただし、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等を含まない。
			一般廃棄物	焼却灰、ばいじん、汚泥、ガラスくず、陶磁器くず、金属くず、溶融固化物
積替保管施設④	8.6㎡	18㎡	産業廃棄物	燃え殻、汚泥、廃油、廃酸、廃アルカリ、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、動植物性残さ、ゴムくず、金属くず、ガラスくず・コンクリートくず（がれき類を除く。）及び陶磁器くず(※)、鋳さい、がれき類、ばいじん 以上16種類 ※ただし、石綿含有産業廃棄物、水銀使用製品産業廃棄物、水銀含有ばいじん等を含まない。
			一般廃棄物	焼却灰、ばいじん、ガラスくず、陶磁器くず、金属くず、溶融固化物

5. 処理実績（2024年10月～2025年9月）

廃棄物の種類	品目	処理量(t)
産業廃棄物／収集運搬	木くず・廃プラ類・汚泥・混合廃棄物など	35,854
産業廃棄物／中間処理	木くず・廃プラ類・ガラ陶・混合廃棄物など	4,576
一般廃棄物／収集運搬	焼却灰・不燃残渣・可燃ごみ・不燃物など	7,861
一般廃棄物／中間処理	可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみなど	144

※1トン以下の数量は四捨五入

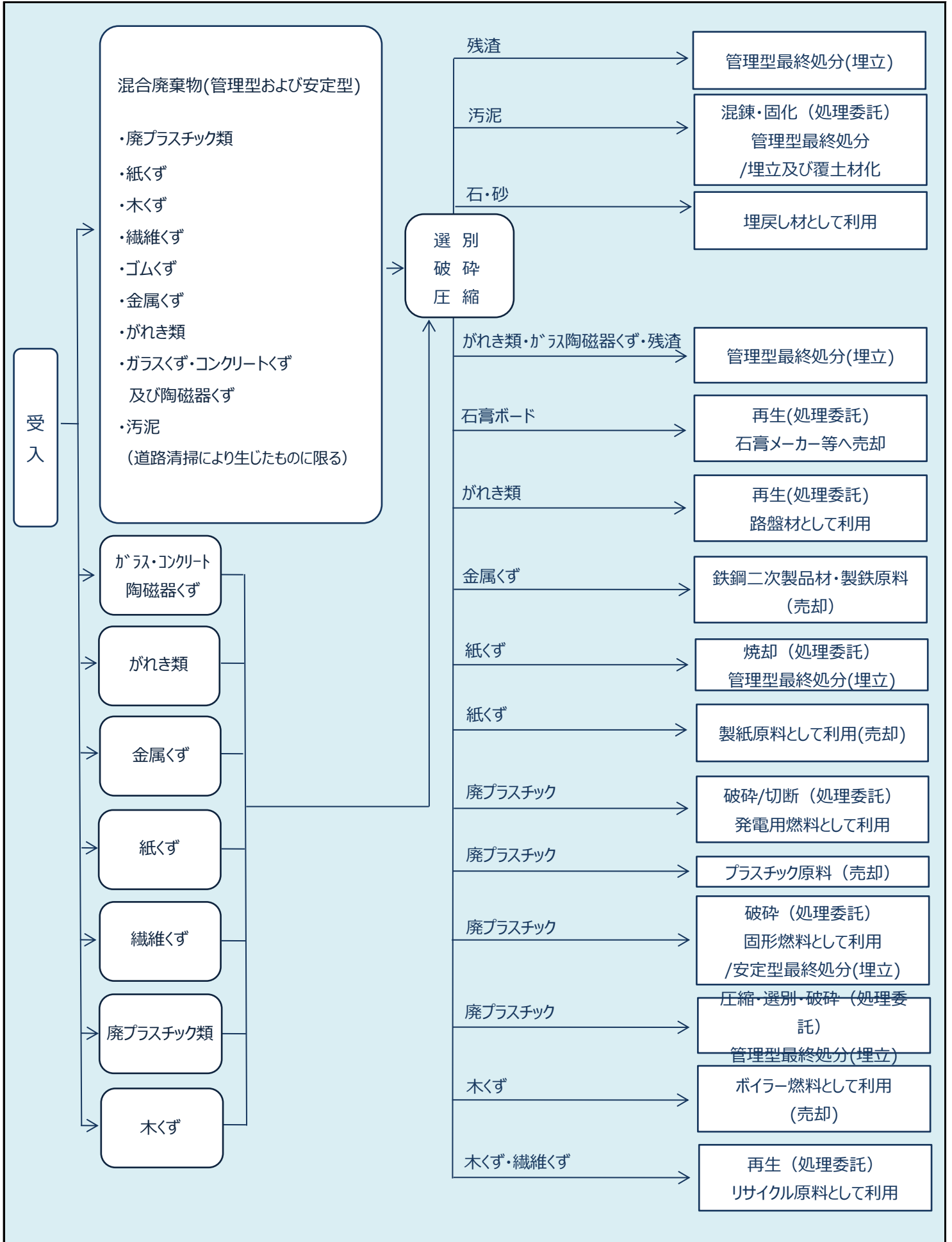
6. 廃棄物処理料金

廃棄物の収集運搬等の料金は、お客様（排出事業者様）とのご契約時にお見積書をご提出し、協議の上、決めさせて頂いております。

なお、廃棄物の品目、性状、排出場所、排出量、荷姿等をご連絡頂ければ、お見積もりさせていただきます。（お見積もりは無料です。連絡先TEL0551-23-0072 営業部 手塚まで。）

以上

7. 処理工程図



8. 処理工程表

【最終処分場所、方法及び処理能力】関係

[白抜き施設が高野産業㈱で中間処理後の処理・再生・売却先、網掛け施設が高野産業㈱で中間処理後の処理先からの売却または処理先]

中間処理後の廃棄物	管理NO	施設の種類	処理方法	処理能力	備考及び処理後の残渣等	
廃プラスチック類 (選別・破砕・圧縮)	A	再資源化施設	圧縮・減容	再資源化施設	売却	
	B	中間処理	破砕	301t/日	サーマルR (発電原料)	
	B-1	再資源化施設	再資源化施設		自社発電燃料	
	B-2	再資源化施設	再資源化施設		売却 (ボイラー燃料)	
	D	中間処理	破砕・選別	166t/日	166t/日	
			破砕・圧縮減容	132.7t/日	83.2t/日	
		最終処分	管理型埋立	埋立容量 : 4,503,360m ³		最終処分
	D-1	最終処分	管理型埋立	埋立容量 : 703,500m ³		最終処分
	F	再資源化施設	破砕	再資源化施設	売却	
	S	再資源化施設	再資源化施設		売却	
	U	再資源化施設	再資源化施設		売却	
	V	中間処理	切断	29.76t/日	売却 (ボイラー燃料)	
	W	中間処理	圧縮・選別・破砕	208.8t/日, 227t/日, 3.36t/日		
	W-1	中間処理	焼却	27 t / 日		
	W-2	中間処理、最終処分	圧縮固化、埋立	圧縮固化 : 20 t / 日		管理型埋立容量 : 2,427,038m ³
	W-3	最終処分	管理型埋立	埋立容量 : 94,624m ³		最終処分
	X	最終処分	管理型埋立	埋立容量 : 188,685m ³		最終処分
	Y	最終処分	安定型埋立	埋立容量 : 105,313m ³		最終処分
	Z	再資源化施設	再資源化施設		売却	
	AA	中間処理	破砕	90.1t/日		
AA-1	最終処分	安定型埋立	埋立容量 : 3,948,728.4m ³		最終処分	
紙くず (選別・圧縮)	G	再資源化施設	再資源化施設		売却 (製紙原料)	
	E	再資源化施設	圧縮	再資源化施設	売却 (製紙原料)	
	F	中間処理	圧縮	150.4t/日	売却 (製紙原料)	
	F-1	再資源化施設	再資源化施設		製紙原料	
	D	中間処理	破砕・選別	166t/日	166t/日	
			破砕・圧縮減容	132.7t/日	83.2t/日	
		最終処分	管理型埋立	埋立容量 : 4,503,360m ³		最終処分
	D-1	最終処分	管理型埋立	埋立容量 : 703,500m ³		最終処分
	H	中間処理	焼却	21.72t/日		最終処分
H-1	最終処分	管理型埋立	埋立容量 : 3,164,302m ³		最終処分	
金属くず・廃プラ (選別)	J	中間処理	破砕・圧縮	9.44t/日	売却 (製鉄原料)	
	J-1	再資源化施設	再資源化施設		製鉄原料	
	T	再資源化施設	再資源化施設		売却	
	U	再資源化施設	再資源化施設		売却	
	C	再資源化施設	再資源化施設		売却	
	R	再資源化施設	再資源化施設		売却	

【最終処分場所、方法及び処理能力】関係

〔白抜き施設が高野産業㈱で中間処理後の処理・再生・売却先、網掛け施設が高野産業㈱で中間処理後の処理先からの売却先〕

中間処理後の廃棄物	管理NO	施設の種類	処理方法	処理能力	備考及び処理後の残渣等		
金属くず（選別・圧縮）	I	中間処理	圧縮切断	48t/日	売却（製鉄原料）		
木くず（選別・破砕）	K	再資源化施設	再資源化施設		売却（ボイラー燃料）		
	R	再資源化施設	再資源化施設		売却（ボイラー燃料）		
	L	中間処理	破砕	544t/日	売却		
	L-1	再資源化施設	再資源化施設		製紙原料、バイオマス発電		
	D	中間処理	破砕・選別	166t/日	166t/日		
			破砕・圧縮減容	132.7t/日	83.2t/日		
		最終処分	管理型埋立	埋立容量：4,503,360m ³		最終処分	
D-1	最終処分	管理型埋立	埋立容量：703,500m ³		最終処分		
繊維くず、ゴムくず、ガラスくず及び陶磁器くず（選別・破砕）	D	中間処理	破砕・選別	166t/日	166t/日		
			破砕・圧縮減容	132.7t/日	83.2t/日		
		最終処分	管理型埋立	埋立容量：4,503,360m ³		最終処分	
	D-1	最終処分	管理型埋立	埋立容量：703,500m ³		最終処分	
	X	最終処分	管理型埋立	埋立容量：188,685m ³		最終処分	
	Y	最終処分	安定型埋立	埋立容量：105,313m ³		最終処分	
石膏ボード（選別）	M	中間処理	破砕・圧縮	30.72t/日	28.17t/日		
石膏粉	M-1	再資源化施設	再資源化施設			売却（土質改良材）	
	M-2	中間処理	焼成	1,562t/日		セメント原料	
	M-3	中間処理	焼却・焼成			セメント原料	
	紙くず	M-4	再資源化施設	再資源化施設			売却（坂紙・中芯材等）
		M-5	中間処理	選別・圧縮			再生古紙
がれき類（選別）	N	中間処理	破砕	256.0t/日		売却（RC材）	
	O	中間処理	破砕	800t/日		売却（RC材）	
	H	中間処理	破砕	320t/日		売却（RC材）	
	P	中間処理	破砕	344t/日		売却（RC材）	
	D	中間処理	破砕・選別	166t/日	166t/日		
			破砕・圧縮減容	132.7t/日	83.2t/日		
		最終処分	管理型埋立	埋立容量：4,503,360m ³		最終処分	
	D-1	最終処分	管理型埋立	埋立容量：703,500m ³		最終処分	
X	最終処分	管理型埋立	埋立容量：188,685m ³		最終処分		
汚泥（道路清掃に伴う汚泥） 中間処理後（選別）	Q	中間処理	中間処理				
	Q-1	最終処分	管理型埋立	埋立容量：703,500m ³		最終処分	



代表者による全体評価と見直しの結果

昨年度からISO14001の環境マネジメントシステムを構築し、運用しています。また、外部認証機関の審査を受審し、ISO14001・2015の認証も取得しました。弊社の代表者である私は、当社の1年間の取組状況を評価し、次の事項について指示しました。

(1) 環境経営方針について

引き続き、環境保全への行動指針に則って取り組みを行うよう指示しました。

(2) 環境経営目標・環境経営計画

本年度は前年度に引き続き環境目標(3か年計画)のもと、二酸化炭素排出量削減の目標達成に向け活動を行うよう指示いたしました。全社員の環境に対する意識の向上および計画行動等により、概ね各項目において目標達成することができました。来期は3か年計画の最終年度でもあるので、今期目標達成した項目については取り組みの継続を、未達成項目については燃費管理および指導を引き続き行い取り組みに努めるよう指示しました。

(3) 実施体制

全社員が年度目標達成のため、一丸となって取り組んでいることを評価します。特に、事務局、ドライバーの意識が高く、パフォーマンスが年々向上していることから組織体制の変更の必要性はないと判断します。来期は、3ヶ年計画の最終年でもあり、今期目標未達項目(燃費)の管理を確実にするよう指示しました。また、デジタコ管理の徹底により車両事故は減少傾向になっていますが車両事故、労災事故ゼロを目標とするよう指示しました。

2025年10月30日

代表取締役 高野 実



毎年11月に実施されております下祖母石地区の「秋の環境整備 水路清掃」に今回も参加いたしました。恒例の行事に意気揚々と大勢の方が集まれ、弊社からは2人が参加しました。地域の皆様方と一緒に心地良い汗を流し、楽しく言葉を交わしながら水路の清掃作業を行いました。コミュニケーション向上の一環として、積極的に地域の清掃活動に参加して環境美化に努めております。

